



第一礼拝次第

メッセージ:郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「さあ、主にささげよう」 「主は良いお方」	会衆	
聖書朗読	フィリピの信徒への 手紙 1:3-11	司会	
祈禱	(新約聖書 p361)	〃	
賛美	529	会衆	
メッセージ	「ああうれしわが身も」 「福音にあずかって いるから」	牧師	
祈禱		〃	
賛美	新生 300	会衆	
	「罪ゆるされしこの身をば」		
献金祈禱		司会	
報告		〃	
頌栄	新生 672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

お休み



ファミリー礼拝

メッセージ: 渡真利千佳子姉

聖書: エゼキエル 36:25~38

メッセージ: 「主が建て直す日」

<巻頭言> 郭永東牧師

愛する胡屋教会の皆さん、お元気ですか。コロナの影響で1年半の間私たちの生活は多く変化しました。今までの全世界のコロナによる死者は約460万人です。これは沖縄人口の3倍に当たります。

今まで緊急措置が延長に延長され、肉体的にも精神的にも疲労感を訴える人が増えています。教会も来会礼拝や集まりが難しくなり、多くの教会はオンライン礼拝をしています。しかし、ここにも死角地帯はあります。それは、オンライン礼拝が不可能な環境に置かれている信徒のことです。

今教会にできることは何か? 今自分にできることは何か? を考えなければなりません。パウロはこのように大変な時期には、手紙を書きました。その手紙は大変な状況に置かれている人々を慰め、散らされて礼拝ができない信徒たちにどのように信仰を守ることができるかについて語ったものでした。パウロはよく手紙を通して感謝の気持ちも伝えました。安否を聞くことから、悩み、アドバイスを愛を持って書いたのです。

時代が発展し、段々手紙を書くことは減ってきましたが、今この時期に慰めの手紙一通が誰かには大きな力となるでしょう。手紙と共にイエス・キリストを紹介してみてもいいでしょうか。

手紙の力は言葉の力とは違います。普段言葉では言えなかったことを文字で伝えることはできます。また、良い文章は心に刻むようになります。愛を込めた文章を読んだ人は、その愛を心に刻むようになるのです。キリストは神様の手紙です。神様の愛を私たちに伝えるために、キリストという手紙を私たちに送ってくださったのです。この一週間はコロナで苦しんでいる兄弟姉妹を思う時となるように祈ります。